

膵がんのリスクを 調べる血液検査です



一般の人々を対象にした膵がんのリスクを調べる血液検査です

PanaSee™ 検査を2年ごとに受けましょう

高リスクの場合：画像検査などより頻繁に検査を受けることが勧められます。血中成分PC-594の濃度が低い場合、高リスクとして経過観察してください

✓ 被験者のコンプライアンス

- 事前の準備は必要ありません
- 採血だけです

“もしがんを早期に見つけることができれば、大きなインパクトがある”

- Scott Livingstone, CEO of the Saskatchewan Cancer Agency*

✓ 臨床的な精度

PanaSee検査は、PC-594という血中成分が、健常対照者のグループと比べて低い場合、最大100倍も膵がんの発症リスクが上昇しているという研究結果に基づいています。PanaSeeは被験者のリスクを調べるため、この成分の濃度を分析します。

- PanaSeeはシンプルな血液検査です。事前の準備は必要ありません
- 研究発表論文にて臨床的な評価試験の結果を報告しています
(詳しくは次のサイトを参照してくださいwww.phenomenome.com)

✓ 臨床試験で高リスクだった場合

PanaSeeは、この検査だけで膵がんの確定診断を行えませんが、結果が高リスクだった場合、低リスクだった場合に比べ、最大100倍も膵がんの発症リスクが上昇している被験者を 識別します。PC-594は、家族歴や膵炎などの一般的に知られる膵がんのリスク因子の追加的なリスク因子となります。

- 一般的なリスクの被験者は、PanaSee検査を2年ごとに受けるように指導しましょう
- PanaSeeの結果が低リスクだった場合、検査を2年ごとに受けるように指導しましょう
- PanaSeeの結果が高リスクだった場合、画像検査などの検査を用いて高リスク群として観察を行ってください

www.phenomenome.com

* Mattern, Ashleigh. (2013) 'Phenomenome Discoveries Inc. ががん検出に関して歴史を作った', The StarPhoenix, 28 February 発行, p. 12.

臨床での評価研究

膵がんの特異的な血中成分PC-594の発見(*BMC Cancer, 2013 Sep12; 13:416. doi: 10.1186/1471-2407-13-416*)

40例の手術前の膵がんの被験者の血液検体と、50例の健常対照者の血液検体を用いて、高分解能の質量分析計を基にした非標的メタボロミクス的手法にて、膵がんの被験者に特異的に減少している血中成分を発見しました。統計解析の結果、36個の炭素数を持つ長鎖脂肪酸PC-594が、膵がんを識別するのに最適な成分であることが分かりました。ROC曲線下面積は0.96となりました。(95%信頼区間は0.94-0.98)

日本人検体を用いた評価試験 #1

この研究では、第1世代のPanaSee検査として、122例の膵がんの被験者と138例の健常対照者の血液検体を用いてPC-594の減少の評価研究を行いました。この研究では38例の膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)も含まれていません。ROC曲線下面積は0.93となりました。(95%信頼区間は0.91-0.95)

日本人検体を用いた評価試験 #2

さらにPC-594の欠乏の評価試験のため、64例の膵がん被験者と140例の健常対照者の血液検体を用いて研究を行い、手術後のPC-594値の変化を調べました。PC-594の値は手術後も回復しないことから、この欠乏は、がんの前駆症状によるもので腫瘍に由来しないことが示唆されました。ROC曲線下面積は0.99となりました。(95%信頼区間0.98-1.0)

北米在住の検体を用いた評価試験 (*BMC Cancer, 2013 Sep12; 13:416. doi: 10.1186/1471-2407-13-416*)

この研究では、北米に住む14例の膵がんの被験者と6例の膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)被験者、1040例の健常対照者(30歳から80歳まで)の血液検体を用いて、PanaSee検査の年齢ごとの分布やカットオフ値を決めることを目標に研究を行いました。ROC曲線下面積は0.97となりました。(95%信頼区間0.96-0.98)

北米在住の検体を用いた評価試験 #2

北米に住む被験者の血液検体を用いた独立した研究で、PC-594の値とCA19-9の結果を比較しました。84例の膵がん被験者と99例の健常対照者の血液検体を用いた結果、ROC曲線下面積は0.93となりました。一方、CA19-9の結果は、ROC曲線下面積は0.85となりました。血中の長鎖脂肪酸PC-594の値が通常より低いと、膵がんの有意なリスク因子であり、CA19-9よりもリスクの指標として優れていることが確認されました。

技術情報

PanaSeeは、タンデムマスという分析技術に基づいています。PC-594と名づけられた血中成分は、594の分子量を有しており、被験者の血清から有機溶媒を用いて液液抽出して、直接質量分析計で分析しています。この検査は定量的で、結果は血中のPC-594の濃度を報告します。もしカットオフ値よりも値が低い場合、被験者は高リスクとして報告されます。

検査に関するお問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願い致します。



測定 ; Phenomenome Lab Services

PanaSeeは膵がんのリスクを判定する未保険検査です。膵がんの検査をPanaSeeの結果のみで判定する目的で行う検査ではなく、医師のアドバイスを置き換えるものではありません。

www.phenomenome.com